

大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業

事業の背景

平成 24 年にマンション建設予定地であった 5000 m²を大磯町土地開発公社が 5 億円で先行取得して後、平成 26 年に現在の駐輪場を建設しました。駐輪場建設にあたっては駅前用地利活用検討委員会・町民ワークショップ・大磯町自転車等駐車対策協議会で検討しましたが、駅前用地利活用検討委員会から出された「駅前土地利用の具体的な将来像は駐輪場整備後、多くの町民や行政関係者、学識経験者によって時間をかけて検討すべき」との答申に基づき、まちづくり基本計画の改定、第 4 次総合計画実施計画への位置付けを経て「大磯駅安全・安心賑わい創出事業」として平成 29 年から進めることになりました。大磯町総合計画実施計画調書では①予算規模が大きい②長期的な視点で取り組む、投資的事業となっています。

事業概要：大磯駅前広場に安全、安心な歩行者空間、にぎわい環境を創出するとともにバス、タクシー、及び一般車両の導線等を検討し、大磯駅前広場を含めた周辺の拠点整備の計画を策定する。

また、大磯町土地開発公社所有の駅前用地については広く一般に開放し、にぎわい創出の場とするため必要最小限度の整備を行う。

目的・効果：駅利用者等が安全・安心に通行できる空間の確保と大磯町の玄関口としてふさわしい駅前周辺エリアとして再整備することで、町民はもとより観光客から親しまれにぎわいのある大磯駅周辺を創出する。

年度別事業内容と事業費

28 年度：大磯駅前広場の再整備における課題の整理と検討

29 年度：大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出計画策定・平面測量・交通量調査 事業費約 1,437 万円

30 年度：駅前広場整備実施設計・補償・用地買収 事業費 4,150 万円

31 年度：各種工事（工事は計画に応じて各所管で実施する）事業費 未定

実際の経過

平成 29 年度予算： 予算額約 1,437 万円 決算額：908 万円

計画案策定検討会：7/17 第 1 回 11/13 第 2 回 12/25 第 3 回 3/14 第 4 回 開催した。

検討会での協議事項 ①計画案 3 案のうち A・C 案に絞り次年度に検討する。

②旧駐輪場跡地計画の検討をする。

③幹線 12 号・停車場線の整備手法を整理する。

平成 30 年度

町からは 30 年度は関係機関との調整などを行うため予算は付けないと報告があったが 8 月 7 日の総務建設常任委員会協議会で、計画案のうち C 案は取りやめ、A 案を基本に検討するとの報告があった。

平成 31 年度予算：大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出事業費 546 万円

事業内容：大磯駅前広場計画検討業務委託

駅前広場 4000 m²の境界確定測量・関係機関協議 パブコメ 計画案図面作成

今後のスケジュール

平成 30 年度に事業を行わなかったため、事業は 1 年遅れで実施すると思われる。しかし計画策定検討会で決定した②旧駐輪場跡地計画の検討③幹線 12 号・停車場線の整備手法の整理については現在公表されていない。

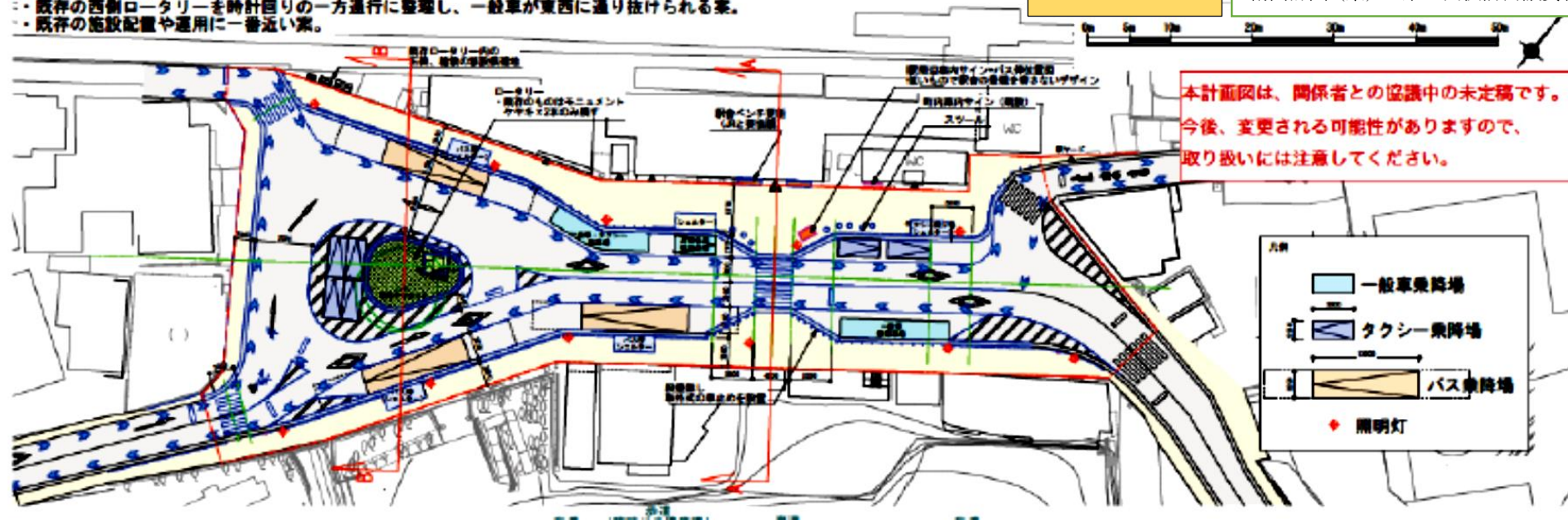
1-3. 計画平面図

施設計画 A案：西ロータリー案

- ・既存の西側ロータリーを時計回りの一方通行に整理し、一般車が東西に通り抜けられる案。
- ・既存の施設配置や運用に一番近い案。

A案図面

(仮称)大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出計画(案) 第4回検討会議資料より



A案イメージ図



4-5. 駅前広場概算工事費

駅前広場計画案のA,C案それぞれの概算工事費を算出した。

駅前広場概算工事費 大磯駅前広場 A案

工種	名称	摘要	数量	単位	金額 (万円以下切り捨て)
1. 基盤整備					
1-1. 構造物撤去工			1	式	25,200,000
2. 植栽工					
2-1. 植栽工			1	式	2,300,000
3. 施設整備					
3-1. 雨水排水設備工			1	式	14,700,000
3-2. 電気設備工			1	式	15,500,000
3-3. 園路広場整備工			1	式	85,000,000
3-4. 修景施設整備工			1	式	2,000,000
3-5. サービス施設整備工			1	式	4,800,000
3-6. 管理施設整備工			1	式	14,900,000
3-7. 建築施設組立設置工			1	式	28,600,000
3-8. 電柱地中化工			1	式	41,600,000
	直接工事費				234,600,000
	経費等	経費率=	0.75		175,900,000
	消費税	8%	0.08		32,800,000
	工事費				443,300,000
	総工事費	443,300,000 + 仮設工事費			

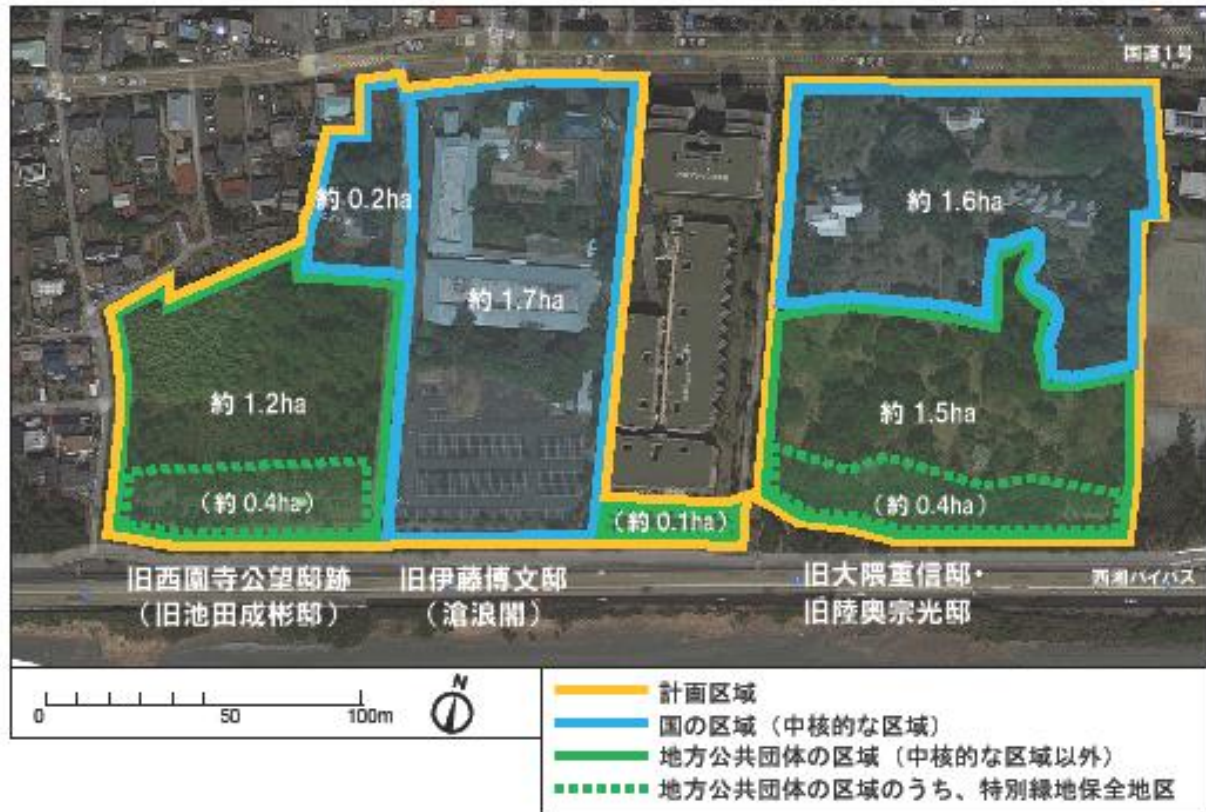
※駅前広場を供用しながらの工事になるため、詳細な仮設計画（施工範囲と利用範囲の切り回し等）が必要であり、本検討では考慮しない。

平成 31 年 1 月 28 日（月）

総務建設常任委員会協議会 説明資料より

明治記念大磯邸園 国と地方公共団体が分担する具体の区域(案)

国と地方公共団体が分担する具体の区域図



国と地方公共団体が分担する面積の内訳

(ha)

	旧西園寺 邸跡	旧伊藤邸	旧大隈邸・ 旧陸奥邸等	合計
国の区域	0.2	1.7	1.6	3.5
地方公共団体の区域	1.2	—	1.5	2.7
特別緑地保全地区	(0.4)	—	(0.5)	(0.9)
合計	1.4	1.7	3.1	6.2

※ 「旧大隈邸・旧陸奥邸等」には、稲荷松緑地（特別緑地保全地区）を含む。

※ 現時点での概ねの区域及び面積であり、今後の詳細な調査や関係機関等との調整を踏まえて確定するものとする。

明治記念大磯邸園 事業計画（概算事業費）（案）

明治記念大磯邸園の区域全体の概算事業費として、約１２０億円を見込むものとする。

明治記念大磯邸園 概算事業費の内訳

（億円）

	国	地方公共団体	合計
用地補償費	５６	２８	８４
園地整備費	６	２	８
建物整備費	２７	—	２７
合計	８９	３０	１１９

- ※１ 明治記念大磯邸園の区域内の特別緑地保全地区のうち、町有地の区域の用地補償費は含まない。
- ※２ 明治記念大磯邸園の区域内の特別緑地保全地区の園地整備費は含まない。
- ※３ 現時点での概算事業費であり、今後の詳細な設計や関係機関等との調整などを踏まえ、必要に応じて見直しを行うものとする。